

# オーストラリア高格付けの理由とは？

**読得**  
ヨミトク

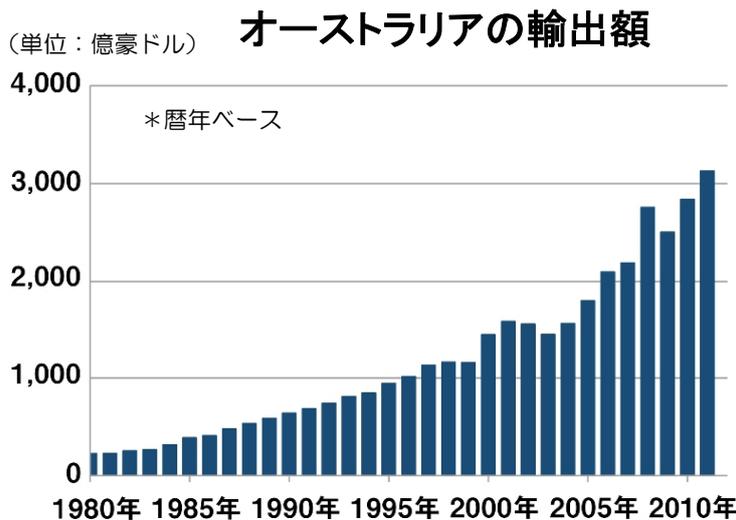
オーストラリアは、大手格付け会社3社のすべてが最高格付けを付与している国のひとつで、その安心感から、かねてより投資信託や外貨預金などで人気のある国です。

高格付けの主な理由として、強固な経済基盤が挙げられます。天然資源が豊富なオーストラリアは、中国やインドなどの成長国を中心としたアジア圏の旺盛な需要により輸出が好調で、2011年（暦年ベース）には輸出額が過去最高を記録しました。また、2012年7月に導入された鉱物資源利用税（資源新税）により、政府は大幅な税収の増加を見込んでいます。増加した歳入は一般家計や中小企業を対象にした減税に振り分けられ、個人消費や設備投資の拡大をうながす予定です。

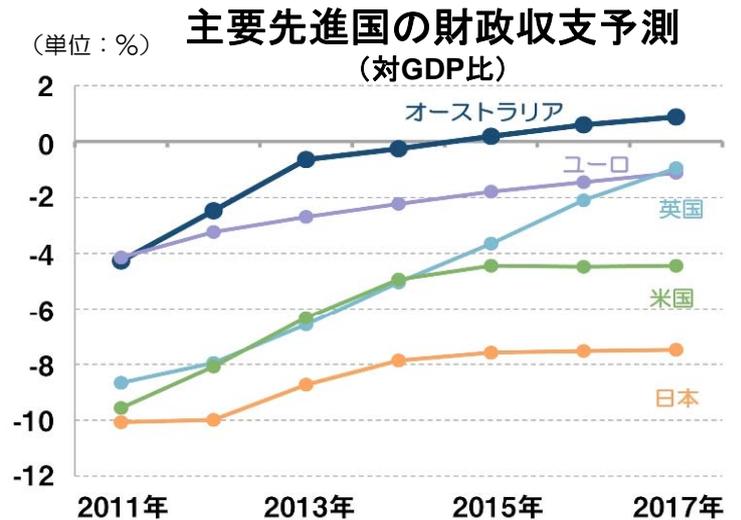
こうした政策により、オーストラリア政府は2012/13年度（2012年7月から2013年6月）には過去4年間続いた財政赤字から脱却し、先進国の中でいち早く黒字に転換するという見通しを打ちだしました。また以降3年間は黒字を維持すると見込まれており、今後の堅調な経済成長への期待がうかがえます。

さらにオーストラリアは産業の強化を目的として、失業者・学生・高齢者・体の不自由な人への就業支援など手厚い社会保障も実施しています。例えば、2013年度からは、小学生を持つ家庭には410豪ドル、中学生をもつ家庭には820豪ドルの就学手当が毎年支給される予定です。

中国をはじめとしたアジア諸国への輸出だけでなく、政府による支援を背景に安定して持続的な成長を達成している先進国オーストラリアに今後も注目です。



(出所) オーストラリア統計局、GSAM



(出所) IMF World Economic Outlook 2012年4月予測値

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。<審査番号:79319.OTHER.MED.OTU>

© 2012 Goldman Sachs. All rights reserved.



**Asset Management**